

事業番号	06 01 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課				
		実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)									
8つの重点目標	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加								
	健康長寿日本一を維持								
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備				3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				
	4-4 生命・生活リスクの軽減				4-5 地球環境への貢献				




1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<ul style="list-style-type: none"> 安茂里庁舎における環境の保全、廃棄物の適正処理、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 飯綱庁舎における自然環境の保全・保護、地球温暖化対策等の調査研究 								
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集・提供の促進 								
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 安茂里庁舎：生活環境の保全、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 飯綱庁舎：自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究、環境学習 								

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)	R1年度	R2年度		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況					
1	環境保全等に関する研究数	23件	23件	→	25件	↑	24件	達成	前年度繰越	0	0
									現計予算	83,700	96,050
									合計(A)	83,700	96,050
2	公開講座、セミナー及びシンポジウム件数	27件	24件	↓	5件	↓	24件	未達成	うち一般財源	58,604	61,770
									決算額(B)	75,513	77,470
3	外部評価、「概ね適切である」以上の評価の割合	100%	100%	→	100%	→	100%	達成	職員数(人)	59	59
4											

成果指標設定理由	<p>1 長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るため研究を実施しており、研究数は研究の活性度の指標になる。 ※目標値：1件増加（前年度実績を基に、課題数の増加を期待して設定）</p> <p>2 県民参加による環境保全や保健衛生の向上等の推進のためのイベントを実施しており、開催数は推進度の指標となる。 ※目標値：前年度実績に基づき設定</p> <p>3 外部の委員による評価により、研究所の事業や研究内容が県民の安心・安全につながっているか判断する指標になる。 ※目標値：前年実績に基づき設定（外部評価に当たり、「概ね適切である」以上の評価を受けるべきとの考えから）</p>
----------	---

達成状況の分析	<p>1 長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るため研究を実施し、研究数は多くなった。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントの開催を中止したが、11月以降は感染防止対策を講じた上で信州自然講座を開催した。オンラインでサイエンスカフェを開催したことから、遠方からの参加者もあった。</p> <p>3 外部評価において、研究所の業務（事業）や各部における調査・研究内容が「適切である」との評価を受けている。</p>
---------	---

主な取組	<p>行政からの依頼による試験検査や調査研究等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境部門では河川や湖沼の水質モニタリング、大気常時監視、廃棄物処分場調査、生物多様性の保全に係る研究などを実施。 保健衛生部門では感染症や食中毒発生時等の原因究明、食品中の残留農薬等の検査などを実施。 近年では、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子解析検査や、福島第1原発事故に係る放射性物質検査を実施。 <p>サイエンスカフェの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民と研究所職員が対話する場として企画。 令和2年度は8回計画したが、4回実施し参加者は延べ92名。 	 <p>遺伝子解析検査</p>  <p>放射線物質検査</p>  <p>サイエンスカフェ</p>
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 行政施策の立案の科学的裏付けや危機管理事象の原因究明調査のため、高度な検査が求められている。一方でそれに対応する技術力の維持や、測定機器の老朽化などの課題がある。 気候変動や新型コロナ対応など、環境・衛生分野を取り巻く情勢は急速に変化していることから、その時々行政課題やニーズに則した調査研究の実施が求められている。 当研究所の実施している業務や調査・研究の成果について、県民に開かれた信頼される研究所とするため、広くわかり易い情報発信が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 高度化する検査に対応した技術を維持するため、国などが主催する研修等への積極的な参加や、OJTによる技術の継承を進めると共に、計画的な分析機器の更新を進める。 翌年度に実施を予定する研究課題について早い段階から関係課等の意見を聴取し、行政の視点やニーズを反映させた研究課題に取り組むとともに、より高度な研究を行うため、諏訪湖環境研究センター（仮称）の開設に向け準備を進めていく。 県の感染症対応方針に従い感染防止対策を講じた上で、サイエンスカフェや公開講座の実施、情報誌の発行など機会を捉えて広報活動を行う。また、対面でのイベント実施が難しい場合でも、オンラインでの代替開催を積極的に検討する。

事業番号 06 01 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
1	環境保全研究所管理費	47,460 千円	45,057 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	庁舎（安茂里、飯綱） 管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等
2	庁舎（安茂里、飯綱） 保守点検等委託	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
2	環境保全研究所研究等事業費	28,053 千円	32,413 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用消耗品 パソコンリース料 医薬材料費 等
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース料 検査消耗品代 調査補助員賃金 等
3	放射能測定機器点検業務	委託	放射能モニタリングポスト点検 ゲルマニウム半導体検出器点検委託 β線自動測定装置点検 等